

第一部 地域まちづくりについて

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
<p>テーマ説明 (1) 西地区の地域防災力について</p>	<p>1 活発な活断層で、かつ人口密集地域を通っている洪沢西断層への市の対応について 2 西地区の地域防災力の課題について 自主防災会(自治会)会員に対しては災害時の自助の体制ができていないが自治会加入率が70%(西地区)の現状にあって、混乱する中で非会員まで対応するのは難しいと思うが、防災の観点から、行政の立場で自治会加入促進(全戸加入)に力を入れて欲しい。洪沢西断層が通る曲松あるいは千村地区をモデル地区としてはどうか。また、自治会に対する市の対応も不足していると感じる。地域防災計画における地震時の収容避難場所の取り扱いや、未加入者への対応など明確にして欲しいことがある。</p>	<p>1. 平成7年に発生した阪神・淡路大震災が活断層の活動によるものとされたことから、国は、全国に約2,000余りあると言われる断層のうち特に重要な10か所について、規模や活動等を解明する調査を開始した。神奈川県では平成9、10年度に実施し、秦野断層および洪沢断層の調査結果をまとめた。その結果、洪沢断層は洪沢西断層と洪沢東断層に分け、合わせて洪沢断層系とされた。当時の調査では最適な場所での掘削調査ができなかったため、活動期の確定はできなかったが、秦野断層および洪沢断層共、各断層単独で地震を起こす可能性と、近くに存在する国府津・神廻一松田断層の影響を受けて活動する可能性が指摘された。この調査結果は、本市の中長期的な地震災害に強いまちづくりの基礎資料になっている。 住宅については耐震診断や耐震設計、耐震工事、また、危険なブロック塀等の除去に対して補助している。 しかし熊本地震、大阪府北部地震で断層による被害が甚大だったことから、更に断層の対策について情報収集や研究をしていきたい。活断層の動きや地震の発生を止めることは出来ないが、発生後の被害を最小限に留めることは日頃からの備えで出来るので、自助として食料等の備蓄、家具の転倒防止、避難場所の確認等、また共助として隣近所での助け合等の実践をお願いしたい。 2. 自主防災会加入率の低下は地域防災力の向上に繋がると考える。防災課でも、自治会未加入者全員加入の体制づくりを進めることは地域防災力の低下に繋がるため、市としても課題として捉えており、住民から避難場所の問い合わせがあった場合には、避難所への避難は自治会単位で決めていること、過去の災害においても隣近所からの救助が多かったとの報告があること等を説明し、自治会への加入をお願いしている。より実効性のある自主防災組織となるよう、住民全員加入の体制づくりに向け、市民活動支援課と連携して検討していきたい。具体的には、防災講演会、市民向け講習会、市民の日、ふれあいまつり等で、防災における自治会加入の必要性を訴えながら加入促進をPRし、住民全員加入の体制づくりに努める。</p>	<p>防災課長</p>
<p>1</p>	<p>平成9、10年に県が秦野断層、洪沢断層、国府津・神廻一松田断層の調査、報告しているが、その後平成30年までの間にどのような教宣活動をおこなったのか。私は当時まだ秦野市民ではなかったもので、教えて欲しい。 防災指導員や役員に対して研修を行うのは当然のことだが、一般市民への周知等は、パソコンを使えない高齢者のことを念頭に置いて行うべきと思う。</p>	<p>自治会長や防災指導員等が出席する防災指導員等研修会等の中で、毎年ではないが何度か話しをした。また、一般市民に対してはホームページや広報等で、秦野断層、洪沢断層等の活断層についての周知を行っている。 【意見】</p>	<p>防災課長</p>

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
	<p>自治会への加入促進というところで、「避難所への避難は自治会単位で」「災害時に隣近所からの救助が多かったことを説明」とあるが、近所づきあいを嫌い、この様子を嫌う人が加入していかないのだから、いくら言ったところでなびかないと思う。この様なことを説明してPRして欲しいとあるのはちよつと違うと思うが、いかがか。</p> <p>では、自治会に入るデメリット、あるいは入らないメリットは何だと思うか。</p>	<p>防災の観点からはやはり自治会に加入して欲しい。自主防災会員には自治会からの共助があることをメリットに、防災課として加入促進に努めたい。ただ、自治会には防災の面だけでは無く色々な面があるので、それは市全体として考える必要があると思う。</p> <p>自治会に入るデメリットとしては、高齢で動けなくなった、役員が回って行くので大変だ、人付き合いが苦手等、年代や個人によって様々だと思う。災害や犯罪が多くなって行く中での地域防災、防犯面ではメリットがあるので、ぜひ入って欲しい。 基本的には入るメリットの方が大きく、入るデメリットや入らないメリットは無いと思う。個人の方が感じるデメリットはあるかもしれない。</p>	<p>防災課長</p>
<p>(1) 西地区の地域防災力について</p>	<p>しかし、実際に自治会長をやっている未加入者に勧誘に行ってもなびいてこない。生活スタイルや市民の意識が変わってきており、自治会に入らなくても不自由なく生活できていると感じている人たちに、回覧や防災のことを話してもなびかない。このような状況に対して自治会で解決するのは限界に来ていて欲しい。 もし実際に震災が起きたら、私の自治会では会員も非会員も区別なく声を掛けて誘導するだろう。また、個人で避難所に行けばどうにかなると思う。また、個人も多いと思う。そういうことも踏まえて検討する必要があると思うが、いかがか。</p>	<p>おっしゃるのももつともだと思う。そのような状況は、秦野市だけでなく全体的な傾向にあるが、加入促進をここで諦めてはいけないと思う。同時に行いながら、他の手段もまた考えていくことが大切で、そのための話し合いは必要だと思う。加入促進を諦めて、その方法を捨てることは考えていない。</p>	<p>市民活動支援課長</p>

		当日の回答		回答者
		説明項目/質問・要望等内容		
3	<p>自治会は地域住民にとっって身近な市役所のようなもので、地域の問題を解決するには自治会が第一だと思っている。</p> <p>防災については、自治会の底力を上げる必要があり、そのためには最低限、マニュアル化して欲しい。自治会役員は任期で交代していくが、防災力は積み重ねで作られると思う。例えば「はだの防災」のマニュアルを作り、それをだんだん補完して完成度の高いものにしていけば、「さすが自治会」となると思うので、ぜひ具体的な防災マニュアルを作成して欲しい。</p>	<p>【意見】</p>		
4	<p>市長は、選挙時のマニフェストで「防災アドバイザー100人養成する」と言っていた。私は市の防災アドバイザーをしているが、現在そのような動きは全く見られない。この場で、市長から防災課長に「来年度から養成をする」と言ってもらえればありがたい。</p> <p>防災アドバイザーは現在約30名いるが高齢化しており、3、4年前から防災課に養成講座の開講を要望している。我々防災アドバイザーは東日本大震災後、市民を対象に防災アドバイザーとしての養成を行った実績があり、養成講座の実施には全面的に協力する準備があるので、市長のマニフェストを受けて、ぜひやらせて欲しい。</p>	<p>この件については9月の議会でも意見をもらい、人材的にもすぐの対応は難しいところがあるので、徐々に進めていくと回答した。具体的な進め方について、防災課長が回答する。</p>	市長	
		<p>お話し通り、現在二十数名の防災アドバイザーが在籍しているが、100人計画に向けて70名以上を1年間で増やすのは難しい。アドバイザーの意見聞き、協力をしながら、徐々に進めていく考えだ。全く動いていないわけではないので誤解しないで欲しい。今後また相談させていただく。</p>		防災課長

(1) 西地区の地域防災力について

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
<p>(2) 西地区の町づくり、安全・安心で、住んで良かった街に</p>	<p>2年後には新東名が開通しサービスマスターも出来ることは、西地区の町づくりに効果をもたらすものと思われ。豊かな自然環境を利用した住みよい町づくりと観光誘致について、いくつかの提案をし、皆さんの意見を聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車両が通過するだけでなく、立ち寄りたくなる観光名所づくりや、商・工業施設の積極的誘致。 ・ 丹沢山の玄関口として、渋沢駅舎のリニューアル。 ・ 大倉高原に山小屋の新築と、ハイキング・観光客向けのリフトを建設。 ・ 「丹沢まつり」を西地区住民の祭典に。 ・ 「水が美味しい」「自然が豊か」「秦野に住もう」をキヤッチフレーズに、各種媒体で西地区をアピールする。 ・ 体験農業を通常の事業として、農協や観光協会が事業計画、管理を行う。 ・ 渋沢丘陵は、ハイキングコースの整備、頭高山にトイレ設置がされているが、PRが不足している。 	<p>西地区には丹沢の登山口があり、毎週土日には多くの登山客で渋沢駅周辺は賑わっている。また、千村地区の八重桜の摘み取り作業の様子は、春の風物詩として市内外から高い関心を寄せられている。しかし、本市の観光振興においては、観光客の滞在時間が短く消費額も少ないことが課題である。平成29年度には260万人の観光客が訪れ、消費額は10億2000万円、一人当たり400円弱だった。秦野SASマートICの整備に合わせて平成28年度から地方創生推進交付金を活用した周遊観光促進事業において、「見て」「触れて」「食べて」「買って」をキーワードとした体験型周遊ルートや着地型観光旅行商品の、その提供者と旅行会社や旅行社を繋ぐために、観光プラットフォーム支援システムの導入に向けた検討を行い、旅行者の長時間滞在と消費活動に結び付け取り組みを模索している。西地区では早くから観光農業に取り組み、落花生掘り取りや「農園ハイク」を実施している。これは多くの観光客が参加する一方、主催する農家も観光客とのふれあいで心豊かになり、互いに満足度の高いイベントになっている。</p> <p>観光は、単に観光客をもてなすだけでなく地域を豊かにするものであり、地域全体が豊かにならないと観光地として長続きしないものと考えられる。安全で住みよい場所だからこそ多くの観光客に愛されることを念頭に、地域の方が幸せに生きていくための手段として観光振興に取り組み、観光資源の整備や「丹沢まつり」等イベントを地域の方たちと一緒に考えていきたい。</p> <p>▽大倉高原山の家は、懇話会を結成し、頂上までの登山を目指さない方々の憩いの場になるよう再整備に向け検討中。リフト建設は設置の予定は無い。▽「丹沢まつり」は地元商業のまつりも兼ねたものだが、地域のイベントとして西地区連合会から様々な提案が出ており、先般、商業者と自治会の各代表者、市で事業の見直しに向けた事前の打ち合わせを行った。▽戸川公園前の旧「どんぐりハウス」について。施設を秦野市が県から借り受け、ようやく出店候補者が決まった。契約の最終手続きが済んでいないので今日は公表できないが、11月中旬頃には新しい店舗が開店するので、地域を盛り上げていきたい。</p>	<p>観光課長</p>
5	<p>丹沢を観光の目玉に安心安全にこのことだが、ヒルが大きな問題になっている。30年前頃に宮ヶ瀬付近でヒル被害が発生し、厚木、二俣川周辺にも多いと聞く。私も寄で数回噛まれた。ヒル対策は神奈川県が一体となって取り組む必要があると考える。今日は県議も出席しているようなので、よろしくお願いたい。</p>	<p>ヒル対策は大変難しい問題と認識しており、鳥獣対策も含め、観光課だけでなく市役所内で横断的に検討する必要がある。大倉高原山の家での検討でも、テントサイトのヒル問題について意見が出ており、できる限りの対策を取っていきたい。</p>	<p>観光課長</p>

説明項目/質問・要望等内容		当日の回答		回答者
6	<p>ハイキングコースの道しるべについて。洪沢駅から頭高山、震生湖に行く途中にほとんど道標が無く、散歩途中にハイキング客から聞かれることがある。分かりやすい道標を設置すれば、ハイキングコースを歩く人が増えると思う。</p>	<p>【要望】</p>		
7	<p>観光に力を入れていくことだが、災害時に観光客の受け入れ先はどのようになっているのか。通常の広域避難所等は地域住民3日分くらいの備蓄を設定していると思うが、例えば「丹沢水無川マラソン」のような大きなイベント開催時に地震が起きたら、どこが受け入れる計画になっているのか。</p>	<p>指定避難所(主に体育館)について、割り振りは自治会等、避難所運営委員会を決めており、大原則としては住民が対象。直下型で震度6強の揺れを想定し、避難者約5000人超に対して備蓄しているが、食糧や飲料水等の備蓄は多少余裕がある。第一次避難所は、小中学校、カルチャーパークの23か所を指定しているが、二次避難所として公民館や児童館、高校等を位置付けており、住民の方で埋まってなければ、そういう所に対応することになると思う。あとは、協定を結んでいる企業等にも協力いただき、避難する方の受け入れをしていきたい。</p>	<p>【要望】</p>	<p>防災課長</p>

(2) 西地区の町づくり、安全・安心で、住んで良かった街に

		当日の回答		回答者
	(2) 西地区の町づくり	<p>観光課と観光協会の違い、お互いの立ち位置はどのようなか。</p>	<p>観光推奨品の販売のように経済活動を生むことや外向きのことを観光協会で、観光施策や方針を決めるのを観光課が対応し、互いに連携してやっている。</p>	観光課長
	8	<p>秦野市、特に西地区には様々な観光材料があるが、生かし切れていないと思う。例えば、渋沢駅前空き店舗が出来たときに、なぜ丹沢関連の登山グッズを扱う店を作らなかったのか。また、不二家のカントリーマームや秦野市全域の道祖神、他にも沢山まだ手を付けられていないものがあり、アイデアが出ていないものも多いので、基本的なところを考えたい。</p>	<p>【意見】</p>	

第二部 市政全般について

		当日の回答		回答者
	第二部 市政全般について	<p>説明項目/質問・要望等内容</p>	<p>(次項の質問とまとめて回答)</p>	
	9	<p>静岡中央銀行からヤマサ前を通りセブンスインレブンまでの道(市道若松6号線)がとても歩きにくい。デコボコしている。道が狭い箇所もあるので、転車等も通行しが、道路を全て平坦にして色分けで歩道を作っても良いと思う。非常に車の通行も多く、歩行者も多い。年寄りが安心して歩けない状況なので、早急に対策を取って欲しい。</p>		

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
<p>10</p> <p>第二部 市政全般について</p>	<p>前の方と同じ、市道若松6号線の整備を要望。この件について昨年この場で発言し、後日、道路整備課職員を2度現場に案内した。私の夫は10年前、中栄信金前の歩道で車いすが段差に引っかかり車道側に転倒してしまっ。周囲の方に助けられたが、自分では外出しなくなっ。最近では歩行器で歩けるようになったが、やはりこの歩道の通行は困難だ。</p> <p>この道路は矢倉沢往還として古くから主要な道で、静岡中央銀行付近が膝まで水に浸かっていた40年前に比べれば良くなったが、狭い歩道に道路標識が設置してあり、車いすやベビーカー、自転車、歩行者も一旦車道に下りる必要がある。そのような状況の中で国道246の迂回車両は増加し、非常に危険な現実には合わない道になっている。また、道路整備課職員が現地で確認したところ幅が2.8mしかなく、車両はセンターライオンを踏まないで離合できない。若松6号線道路は曲松・渋沢地区の人々の大事な生活道路で、多くの人が「何とかして欲しい」との声が上がっている。東名高速道路の様な大きい道路も必要かもしれないが、我々にとっっては毎日の生活が危険なことが問題だ。先ほど観光振興の話があったが、歴史的にも意義を持つこの道の整備は、観光の面からも進めるべきと思う。渋沢地区ではセットバックの必要がない部分もあるので、できる所からすぐにやっで欲しい。</p> <p>曲松方面はセットバックしてあるが、渋沢方面はまだされていない。今日は各自治会の役員が出席しているので、皆さんで話し合い、納得の上で進めて欲しい。本当に渋沢方面は危険な箇所もあるので、よろしくお願したい。</p>	<p>(前項の質問とまとめて回答)</p> <p>静岡中央銀行から平沢の踏切までの通りについては、議会でも質問がかなり増えている。抜本的な246の渋滞解消のため246バイパスの開通を進め、迂回路の解消を図ることも必要と考える。</p> <p>この道路の整備については、過去に沿線の方に用地提供で協力いただいた経緯があり、道路拡幅の説明に行く「1回下がつてるんだよ」と言われてしまう。そこで、建築行為のあった箇所は1.8mの歩道を整備するようにし、順次進んでいる。虫食いに整備されていないように見えるが、80%以上は後退済み。ただ、側溝の所は勾配が無く水が溜まるので、側溝を下げることも、車道のアスファルトを上げて全体を上げることもできず、歩道の整備にはやはりセットバックが必要になる。水が溜まらずきれいな歩道ができるように、全体的に考えて進めていきたい。</p> <p>【意見・要望】</p>	<p>建設部長</p>

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
11	<p>9月29日付けの神奈川新聞に、桜土手古墳展示館を歴史資料館として2020年11月の開館を目指す、とあった。そのためには学芸員の充実が必要であり、職員採用について提案し、市長の意見を聞きたい。</p> <p>2020年3月に学芸員の資格を取得して卒業する優秀な大学生や大学院生を確実に採用するため、県内や東京及び近郊の適切な大学（筑波大、早稲田大、国学院大、法政大、東海大等、他にも調査して）の学科やゼミに、応募要項を早めに直接持って行ってはどうか。</p> <p>応募要項には職務内容等の他に、①定年まで秦野市の職員として勤務する意欲があること、②秦野市に定住する意欲があること、③秦野らしさや秦野の魅力を追求め、市民の生活の向上と観光振興、まちづくりを生かすことに取り組む意欲があること、④積極的に秦野の文化財等の関係団体の育成に取り組む意欲があること、⑤メンタルに強いこと等を大事な要件として盛り込んではどうか。</p>	<p>堀山下テイクパークを区画整備をした際に非常に非常に古墳が出土し、当時の先人が古墳公園として保存するために桜土手古墳展示館を作った。そこに歴史資料館的役割を入れ込んで充実させるため、平成32年、2020年に転換をする。学芸員の新規採用や、現在いる学芸員及び全体の人員配置等について検討し、必要があれば、今のご提案を参考にして採用することになると思う。</p>	市長
12	<p>中央運動公園の改名について、なぜ変えなければいけないのか必要性が全く感じられない。上関地区から中央運動公園経由で秦野駅行きのバスを利用している年寄りは、名前が変わって混乱しており、また市では最近同じような名称が多く紛らわしいと感じる。また、駐車場も番号制になってしまい、何番がどこなのか全くわからない。駐車場を造るときの関係業者や管理する人のために番号制にしたとしか思えない。どのような考え方で改名したのか教えて欲しい。そして要望として、元の分かりやすい名称に戻して欲しい。</p>	<p>公園やバス停の改名について、分かりにくいとの声は聞いている。公園を整備する中で、このエリアを運動競技だけでなく、文化会館、図書館等全体を含めてカルチャerpークとして改名した経緯があるが、横文字(カタカナ)の名称は唐突だったかもしれない。駐車場の番号は、整備する中で付けたものだが、ただただ周知が足りていない。案内板や、「市民の日」のチラシの中の地図にも明記し、皆さんに根付くようにPRしていきたい。</p>	市民部長

第二部 市政全般について

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
<p>第二部 市政全般について</p>	<p>13</p> <p>上水の配管が約20年前に整備されたが西地区の中にも古い配管を使っている家があると思う。古い配管は50年以上経った鉄のもので、錆や臭気があり衛生的に良くないと思う。ぜひ調査して整備しなおして欲しい。</p>	<p>第一の目的を耐震化として、平成23年度から水道等の施設整備計画を進めている。この耐震化は、古い水道管を更新し、その更新に合わせて耐震性のある継ぎ手にながら進めている。市内には約700kmの水道管があり順次計画的に進めている。</p> <p>(その後の対応) 翌日(10月23日)に質問者の自宅へ伺い現地調査を行った結果、錆や臭気の原因は給水管(個人所有物)であった。そのため、対応については、所有者が行うことで了承された。</p>	<p>上下水道局長</p>